

ユニセフインド指定募金映画上映会

<インド女子教育の充実をめざして>

上映作品「ビラルの世界」

※子どもの目を通したインド貧民街の現実

※目の不自由な両親に育てられる3歳のビラル。

上映日時：2014年7月27日（日）

上映時間：14：00（開場：13：30）

上映会場：常陽藝文センター

<入場無料>

主 催：茨城県ユニセフ協会

お申し込み・お問い合わせ

「茨城県ユニセフ協会」

TEL：029-224-3020

Email：ozawa@ibaraki-kenren.coop



走る、転ぶ
 もらす、抱きつく
 叱られる
 手をつなぐ
 カルカッタの路地
 ビラル、3歳

(第14回インドフィルムフェスティバル)
 アジア千波万波奨励賞

(第14回インドフィルムフェスティバル)
 コミュニティシネマ賞

(第50回インドフィルムフェスティバル)
 インド全国映画賞

(第50回インドフィルムフェスティバル)
 IDFA賞

ビラルの世界

ソーラヴ・サーランギ監督作品

監督 ソーラヴ・サーランギ 脚本 ソーラヴ・サーランギ、シイマ・マシク

制作 株式会社映画のそと 配給 株式会社映画のそと 上映 株式会社映画のそと

人の本来持つ、困難を生きぬく力強さが胸に迫る！

本作は、盲目の盲導犬「ビル」がカクタマを導くという、暖かい人情と「一家の巨匠」は、地球上の多くの場所で人々があふれる貧困の現実だ。そんな中でも、生き抜くたくましさを持ちこく普通の事情あふれる家族の密には尊厳すら感じよう。



子どもの目を通してインド貧民街の現実
画面から飛び出さんばかりの悪ガキぶり
「ビル」の目を通して、貧民街の現実が鮮やかに描き出されていく。その目を通して、貧民街の現実が鮮やかに描き出されていく。その目を通して、貧民街の現実が鮮やかに描き出されていく。

目の見えない盲導犬の子育て
それでも生きることは素晴らしい
「ビル」の目を通して、貧民街の現実が鮮やかに描き出されていく。その目を通して、貧民街の現実が鮮やかに描き出されていく。

温かい友情と優れた映画技術
「ビル」の目を通して、貧民街の現実が鮮やかに描き出されていく。その目を通して、貧民街の現実が鮮やかに描き出されていく。



人生同様、貧困も喜びは降り合わせ

世界が選んだドキュメンタリー映画の秀作、満を持して日本公開
本作は50以上の国際映画祭で賞がられ、15もの賞を獲得。山形国際ドキュメンタリー映画祭でも「アジア千歳」賞、「アジア賞」を、田のミニシアターの館主が導く「ビル」の「ビル」をテーマにした受賞。配給会社に贈られる「ビル」の「ビル」の受賞にも関わらず、なかなか日本公開が決まらなかった。それでも、この映画を、ビルを顧客と出会ったという手づから日本公開が実現する。

ビルの世界
「ビル」の目を通して、貧民街の現実が鮮やかに描き出されていく。その目を通して、貧民街の現実が鮮やかに描き出されていく。

【上映日時】 **2014年7月27日** 日 **入場無料**
【上映時間】 14:00 (閉場/19:30)
【上映会場】 常陸藝文センター 主催・茨城県ユニセフ協会

お申し込み・お問い合わせ 茨城県ユニセフ協会 TEL 029-224-3020 E-mail ozawa@ibaraki-kenren.coop